

共通戦略1	革新的な経営戦略に踏み込んだ支援の推進
-------	---------------------

施策1	事業者の課題解決に向けた提案型支援の推進
-----	----------------------

1 令和7年度 施策の方向性
<p>ライフスタイルの変化等、消費者の購買動向が益々多様化したことにより、事業者は慣例にとらわれない、これまでにない発想や技術で事業を見直すことが求められている。 特に販路開拓に向けたICT導入や、生産性向上のためのDX推進等革新的取組を積極的に支援する。</p>

2 事業概要 ※ () は活動目標値

(1) ICT導入に向けた取組促進事業																									
<p>コロナ禍により大きく変化した消費行動や消費者志向に合わせ、インターネット活用による販路拡大を支援した。 また、インボイス制度に伴う事業者の会計システムの見直しや、電子帳簿保存法への対応に伴う書類のデジタル化など、事業者の実情に応じたデジタル活用を推進した。</p>																									
■活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ開設に向けた支援 ・商工会クラウドMA1等を活用した業務効率化の提案 ・ICT導入計画策定セミナーの開催 																								
■達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT導入計画策定件数 <u>22件</u> (20件) <p>【内訳】</p> <table border="1"> <tr> <td>会員向けホームページ(ゲーペ)新規登録</td> <td>2件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クラウド会計システム(MA1)導入</td> <td>2件</td> <td>(5件)</td> </tr> <tr> <td>専門家派遣(導入計画策定支援)</td> <td>1件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>セミナー受講者(導入計画策定支援)</td> <td>14件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>宿泊事業者経営力強化支援事業費補助金(県)申請支援</td> <td>1件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小規模事業者持続化補助金(国)申請支援</td> <td>1件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中小企業省力化投資補助金(国)申請支援</td> <td>1件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・モニタリングサービス(簡易診断レポート)提供数</td> <td><u>254件</u></td> <td>(250件)</td> </tr> </table>	会員向けホームページ(ゲーペ)新規登録	2件		クラウド会計システム(MA1)導入	2件	(5件)	専門家派遣(導入計画策定支援)	1件		セミナー受講者(導入計画策定支援)	14件		宿泊事業者経営力強化支援事業費補助金(県)申請支援	1件		小規模事業者持続化補助金(国)申請支援	1件		中小企業省力化投資補助金(国)申請支援	1件		・モニタリングサービス(簡易診断レポート)提供数	<u>254件</u>	(250件)
会員向けホームページ(ゲーペ)新規登録	2件																								
クラウド会計システム(MA1)導入	2件	(5件)																							
専門家派遣(導入計画策定支援)	1件																								
セミナー受講者(導入計画策定支援)	14件																								
宿泊事業者経営力強化支援事業費補助金(県)申請支援	1件																								
小規模事業者持続化補助金(国)申請支援	1件																								
中小企業省力化投資補助金(国)申請支援	1件																								
・モニタリングサービス(簡易診断レポート)提供数	<u>254件</u>	(250件)																							
(2) 新商品開発等販路開拓支援事業																									
<p>新商品開発等、販路開拓に向けた革新的取組により他社との差別化を図るため、補助金活用等を支援した。</p>																									
■活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・他団体等と連携した商談会等出展支援 ・国・県補助金制度の活用提案、経営計画策定及び事業遂行支援 ・専門家活用による経営課題解決のサポート 																								
■達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発等販路開拓支援件数 <u>82件</u> (80件) <p>【内訳】</p> <table border="1"> <tr> <td>小規模事業者持続化補助金(国)</td> <td>4件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>米加工品製造業緊急支援事業費補助金(県)</td> <td>1件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新時代対応型伝統的工芸品等支援事業費補助金(県)</td> <td>1件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>湯沢市新事業チャレンジ補助金</td> <td>3件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>湯沢市つくる力売る力向上支援事業補助金</td> <td>1件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>販路開拓、商談会出展等情報提供及び支援件数</td> <td><u>72件</u></td> <td></td> </tr> </table>	小規模事業者持続化補助金(国)	4件		米加工品製造業緊急支援事業費補助金(県)	1件		新時代対応型伝統的工芸品等支援事業費補助金(県)	1件		湯沢市新事業チャレンジ補助金	3件		湯沢市つくる力売る力向上支援事業補助金	1件		販路開拓、商談会出展等情報提供及び支援件数	<u>72件</u>							
小規模事業者持続化補助金(国)	4件																								
米加工品製造業緊急支援事業費補助金(県)	1件																								
新時代対応型伝統的工芸品等支援事業費補助金(県)	1件																								
湯沢市新事業チャレンジ補助金	3件																								
湯沢市つくる力売る力向上支援事業補助金	1件																								
販路開拓、商談会出展等情報提供及び支援件数	<u>72件</u>																								

3 施策目標及び達成状況					
施策目標	実績値(目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) ICT導入計画策定件数 ・課題解決に関する計画策定件数	20件 (20件)	25件 (30件)	21件 (10件)	22件 (20件)	(20件)
達成状況	達成	未達成	達成	達成	
(2) 販路開拓支援事業所数 ・各種施策を活用した販路開拓支援件数	107件 (80件)	56件 (80件)	80件 (80件)	82件 (80件)	(80件)
達成状況	達成	未達成	達成	達成	

4 施策目標に関する検証

(1) ICT導入計画の策定件数
<p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT導入に向けた取組促進事業 販路拡大や新規顧客獲得に向けICT導入計画策定セミナーを開催。業務へのAI活用及び導入につなげたほか、業務効率化に向けクラウド会計システム(MA1)を推進した。 <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT導入に向けた取組促進事業 セミナー参加者に対し受講後のAI活用状況の確認フォロー等、ICT導入に関する継続的な支援が不足していた。
(2) 販路開拓支援事業所数
<p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発等販路開拓支援事業 各種補助金情報をいち早くキャッチし、新商品開発に向け活用提案を行った。また、専門家派遣を活用し計画策定支援を行うなど、事業者のニーズに合わせ支援内容を強化した。 <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発等販路開拓支援事業 補助金情報を提供するも、事業者の申請意向確認等のフォローが不足し、申請へ至らないケースがあった。

5 次年度への改善点

(1) ICT導入に向けた取組促進事業
<p>商工会報やホームページでの制度周知に加え、巡回を通じて事業者のニーズをくみ取り、ICT導入提案及び補助金等の活用提案につなげていく。</p>
(2) 新商品開発等販路開拓支援事業
<p>引き続き、補助金等の活用事例や支援メニューの周知を強化するとともに、最適な支援策を探り、事業者にも有効な道筋を示していく。</p>

共通戦略 1	革新的な経営戦略に踏み込んだ支援の推進
--------	---------------------

施策 2	利益確保に向けた実効性の高い個社支援の推進
------	-----------------------

1 令和7年度 施策の方向性
<p>人口減少や少子高齢化といった厳しい経営環境に対応するため、新たな市場開拓や新分野展開、生産性向上を図るためのDX推進等、事業者は思い切った革新的な取組を行うことが求められている。</p> <p>実効性を高めるため、専門家派遣事業の積極的活用等個社支援を通じて経営計画策定を強化する。</p>

2 事業概要 ※ () は活動目標値

(1) 事業計画策定支援事業	
事業者の持続的発展に向けて、実効性の高い事業計画策定を支援した。	
■活動内容	・補助金等支援施策活用による計画策定支援
■達成状況	・事業計画策定支援事業所数 32件 (20件)
【内訳】	
小規模事業者持続化補助金(国)	15件 (5件)
中小企業省力化投資補助金(国)	1件
宿泊事業者経営力強化支援事業費補助金(県)	1件
起業支援事業費補助金(県)	1件
商業・サービス産業省エネ化推進事業費補助金(県)	1件
食品産業価格高騰対策事業費補助金(県)	1件
米加工品製造業緊急支援事業費補助金(県)	1件
新時代対応型伝統的工芸品等支援補助事業(県)	1件
湯沢市新事業チャレンジ補助金	3件
湯沢市つくる力売る力向上支援事業補助金	1件
湯沢市ふるさと企業振興補助金	3件
湯沢市先端設備導入計画	3件
(2) 経営課題解決支援事業	
多岐にわたる経営課題の解決に向けて、専門家派遣等を積極的に活用した個社支援を実施し、課題解決を支援した。	
■活動内容	・定期的な巡回による経営課題の掘り起こし及び解決提案
■達成状況	・経営課題解決支援事業所数 103件 (40件)
【内訳】	
革新的取組実行支援	8件 (5件)
事業承継実現	2件 (3件)
BCP策定	31件 (30件)
専門家派遣	62件

施策目標	実績値 (目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 事業計画策定支援事業所数 ・事業計画策定支援事業所数	26件 (20件)	24件 (20件)	20件 (20件)	32件 (20件)	(20件)
達成状況	達成	達成	達成	達成	
(2) 経営課題解決支援事業所数 ・経営課題解決支援事業所数	82件 (40件)	84件 (40件)	59件 (40件)	103件 (40件)	(40件)
達成状況	達成	達成	達成	達成	

4 施策目標に関する検証

(1) 事業計画策定支援事業所数	
《効果があった事業及びその内容》	何が良かったのか
・事業計画策定支援事業	目指すべき姿を定め、定性的・定量的両面から目標を立てたことで、実効性の高い事業計画を策定でき補助金申請につながった。
《検討の余地がある事業及びその内容》	何が悪かったのか
・事業計画策定支援事業	補助金の募集期間と設備導入等のタイミングが合わず申請見送りとなったケースがあり、事業者への周知をさらに強化する必要がある。
(2) 経営課題解決支援事業所数	
《効果があった事業及びその内容》	何が良かったのか
・経営課題解決支援事業	事業所ごとに異なる多種多様な案件に対して専門家派遣を活用したことで、満足度の高い解決提案を行うことができた。
《検討の余地がある事業及びその内容》	何が悪かったのか
・経営課題解決支援事業	事業所からの相談を受け支援に取り組むことが多く、巡回による新たな問題の掘り起こしができなかった。

5 次年度への改善点

(1) 事業計画策定支援事業
スピーディーな情報発信、定期巡回により事業者ニーズの把握に努め、補助金申請時に限らず事業計画策定の重要性を広く周知していく。
(2) 経営課題解決支援事業
事業者の課題解決に向け、巡回による案件の掘り起こし強化に努める。

共通戦略2	新たな可能性を切り拓く多様な連携の推進
-------	---------------------

施策3	相乗効果により経営力強化を可能とする連携の促進
-----	-------------------------

1 令和7年度 施策の方向性
<p>厳しさを増す経営環境に対応するためには、個々の事業者の力だけでは限界があるため、経営資源の有効活用や相乗効果による新たな可能性を創出する事業者間連携が期待されている。</p> <p>事業者の強みを活かし、新たなビジネスチャンスを生み出すために、企業の垣根を超えた商工業者同士の連携や一次産業者など他産業者との連携を促進する。</p>

2 事業概要 ※ () は活動目標値

<p>(1) 事業者間連携創出事業</p> <p>事業者間の連携による新ビジネスの立ち上げを促進するため、「事業者間連携(業務提携・協業化)支援の手引き」(県連合会提供)を活用し支援を行った。</p> <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回による情報収集及び案件の掘り起こし ・「マッチング支援窓口」の運用に向けた体制整備 <p>■達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者間連携支援 1件 (3件) ・事業者間連携による試作品開発に向けた支援
<p>(2) 農商工等連携促進事業</p> <p>地域の強みや特色を活かした新たな連携ビジネスに取り組むため、他産業者との連携の可能性を模索した。</p> <p>また、地域外に誇れる豊富な地域資源を活用した加工品が少ない現状を踏まえ、付加価値を高めるための六次産業化・農商工連携を促進した。</p> <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業法人等との情報交換による他産業者との連携促進 ・地産野菜を使った新商品開発の提案 <p>■達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次産業者等への支援件数 0件 (2件)

施策目標	実績値 (目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 事業者同士の連携事業取組数 ・事業者同士の連携事業取組数	0件 (0件)	1件 (1件)	2件 (2件)	1件 (3件)	(4件)
達成状況	—	達成	達成	未達成	
(2) 他産業者との連携事業取組数 ・他産業者との連携事業取組数	0件 (0件)	1件 (1件)	0件 (2件)	0件 (2件)	(2件)
達成状況	—	達成	未達成	未達成	

4 施策目標に関する検証

<p>(1) 事業者同士の連携事業取組数</p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者間連携創出事業 県内商工会員からのOEM要望を受け当会が調整役となり、稲庭うどんと規格外のキキョウを使った新商品開発の支援を継続している。 <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者間連携創出事業 事業者間連携に関する情報収集が不足した。また、「マッチング支援窓口」の運用に向けて、具体的な体制整備ができなかった。
<p>(2) 他産業者との連携事業取組数</p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農商工連携促進事業 農産物取扱事業者を中心に連携の可能性を探り、農商工連携による販路拡大について提案した。また、地域特産物の六次産業化好事例を紹介し、連携促進を提案した。 <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農商工連携促進事業 連携提案を行ったものの事業者ニーズとマッチせず、事業計画策定には至らなかった。事業者ニーズの十分な把握が不足していた。

5 次年度への改善点

<p>(1) 事業者間連携創出事業</p> <p>積極的な巡回により情報収集を行い、事業者間連携案件の掘り起こしを行う。</p>
<p>(2) 農商工連携促進事業</p> <p>農商工連携の取組計画を立てたうえで、年間を通じて掘り起こしを行う。また、既に連携に取り組む事業者から情報収集し、新たな連携に向けた可能性を模索する。</p>

共通戦略2	新たな可能性を切り拓く多様な連携の推進
-------	---------------------

施策4	ネットワークを活用した多様な連携の推進
-----	---------------------

1 令和7年度 施策の方向性	
人口減少や少子高齢化、後継者不足等により、地域で営む商店等の廃業が増加し、地域コミュニティ機能や賑わいの低下が大きな課題となっている。 地域経済を活性化させるため、商工業に限らず、福祉や農業、住民組織等との連携を強化し情報を共有するとともに、自治体や管内外の地域団体とのネットワークを活用し「点」から「線」へとビジネスチャンスの変化を図る。	

2 事業概要		※ () は活動目標値
(1) 新たなビジネス創出支援事業 新たなビジネスの可能性を導き出し、地域活性化につなげるため、若者や移住者等を含めた多様な連携推進による創業・起業を支援した。		
■活動内容	・事業承継計画策定セミナーの開催 ・創業・起業支援	
■達成状況	・創業実現件数 うち、事業承継による創業実現	4件 (1件) 2件
(2) 関係機関との連携強化事業 商工業の活性化を目指し、関係機関と連携し、情報共有と課題解決に向けて一体となった取組を強化した。		
■活動内容	・関係機関との連携による個社支援の推進	
■達成状況	・関係機関との連携による解決提案	1件 (1件)

3 施策目標及び達成状況					
施策目標	実績値 (目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 連携推進による創業・起業数 ・創業・起業数	1件 (0件)	1件 (1件)	1件 (1件)	4件 (1件)	(2件)
達成状況	達成	達成	達成	達成	
(2) 他団体との連携事業取組数 ・他団体と連携した事業実施	1件 (0件)	1件 (1件)	2件 (1件)	1件 (1件)	(2件)
達成状況	達成	達成	達成	達成	

4 施策目標に関する検証	
(1) 連携推進による創業・起業数	
≪効果があった事業及びその内容≫	何が良かったのか ・新たなビジネス創出支援事業 チーム支援や関係団体との連携で新たな視点が生まれたほか、事業アイデアの具体化が促進された。これにより創業希望者の実行力が高まり、地域資源を活かした持続的な創業・起業の実現につながった。
≪検討の余地がある事業及びその内容≫	何が悪かったのか ・新たなビジネス創出支援事業 事業承継について、支援体制を整備したものの、後継者の確保や事業の引継ぎに向けた準備に時間を要するため、承継実現件数が伸び悩む結果となった。
(2) 他団体との連携事業取組数	
≪効果があった事業及びその内容≫	何が良かったのか ・関係機関との連携強化事業 行政及びあきた企業活性化センターと連携したことにより多角的な視点で支援することができたほか、テストマーケティングの手段が増え、事業者の今後の経営計画が確立された。
≪検討の余地がある事業及びその内容≫	何が悪かったのか ・関係機関との連携強化事業 関係機関からの情報が事業者止まりとなり、フォロー支援に支障をきたすケースがあった。事業者との情報共有の徹底が不足していた。

5 次年度への改善点	
(1) 新たなビジネス創出支援事業 後継者不足や事業承継の課題を踏まえ関係機関との連携を強化するとともに、広域的なネットワークを活用し、多様な連携を活かした創業・事業承継支援に取り組んでいく。	
(2) 関係機関との連携強化事業 関係機関との情報共有を密にし、事業者の課題解決提案につなげる。	

共通戦略3 成果を創出し続ける組織・運営体制の構築

施策5 事業者が主役の商工会活動の強化

1 令和7年度 施策の方向性

事業者の持続的発展及び地域経済活性化のためには、これまで以上に組織基盤を強化し、地域における存在感を高めていく必要がある。
 組織運営上の役員の役割を明確化するとともに、役職員による会員加入を促進する。また、業種別部会や青年部・女性部のネットワークを活用した事業を通じて、会員間・部員間のビジネス交流促進を図るなど、事業者主体の実施体制を強化する。

2 事業概要 ※ () は活動目標値

- (1) 組織基盤強化事業**
 商工会組織基盤の強化を図るため、役職員一体となり実効性の高い会員加入運動を推進した。
- 活動内容
 - ・会員加入運動の推進
 - ・共済加入感謝キャンペーンの実施 (4月～12月)
 - ・四部会合同視察研修の実施
 - 達成状況

・新規会員加入件数	9件	(20件)
・会員組織率	59.5%	(62%)
・商工貯蓄共済新規獲得口数	138口	(120口)
・商工貯蓄共済新規加入者数	12件	(50件)
・会員福祉共済新規獲得口数	17口	(50口)
- (2) 地域経済活性化事業**
 商工会役員のほか部会、青年部・女性部も含めた役員の商工会活動への関与を高め、事業者が中心となった活動を展開した。
- 活動内容
 - ・役員会や部会活動を通じた政策要望の検討
 - ・日本政策金融公庫、信用保証協会との連携による資金繰り対策強化
 - 達成状況

・事業実施数	8件	(5件)
--------	----	------

 - 【内訳】
 - ・湯沢市議会議員との意見交換会における課題提起
(出席者：市議会議員15名、役員17名)
 - ・全国まるごとうどんエキスポ2025in秋田・湯沢の開催
 - ・秋田稲庭うどん協議会による地理的表示(GI)保護制度登録推進
 - ・共同広告発行事業の実施【商業部会・観光サービス業部会】
 - ・楽天イーグルス野球塾の開催【青年部】
 - ・詩の街ゆざわ短歌大会の開催【女性部】
 - ・経営支援ネットワーク会議への参画
 - ・金融懇談会の開催

3 施策目標及び達成状況

施策目標	実績値 (目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 会員組織率 ・組織率の向上 (会員数÷商工業者数×100)	60% (60%)	62% (60%)	61.2% (61%)	59.5% (62%)	(63%)
達成状況	達成	達成	達成	未達成	
(2) 主体的に行う事業数 ・事業者が中心となって行う事業数	8件 (3件)	4件 (3件)	10件 (4件)	8件 (5件)	(5件)
達成状況	達成	達成	達成	達成	

4 施策目標に関する検証

- (1) 会員組織率**
- 《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか
- ・組織基盤強化事業
共済キャンペーンを活用し加入促進を展開、貯蓄共済新規獲得口数の目標を達成した。また、四部会合同視察研修を行い、組織基盤の強化を図った。
- 《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか
- ・組織基盤強化事業
新規会員獲得に向けては、役員からの情報提供に頼るばかりでなく、計画的な会員加入運動を実施すべきであった。
- (2) 主体的に行う事業数**
- 《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか
- ・地域経済活性化事業
商工会役員、青年部・女性部協力のもと、全国まるごとうどんエキスポを盛会裏に開催し、賑わい創出を図った。
- 《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか
- ・地域経済活性化事業
全国まるごとうどんエキスポ来場者の地域内周遊観光等、さらなる波及効果につなげる取組を検討することができなかった。

5 次年度への改善点

- (1) 組織基盤強化事業**
 商工会未加入者情報を収集・共有・リスト化し、計画的な加入促進を展開することで、組織基盤強化を図る。
- (2) 地域経済活性化事業**
 一大イベントが一過性とならないよう、さらなる波及効果につなげる取組を検討する。

共通戦略3 成果を創出し続ける組織・運営体制の構築

施策6 機動性・効率性を重視した事務局体制の整備

1 令和7年度 施策の方向性
 多様化高度化する経営課題や頻発する災害への対応等、商工会が果たすべき役割は益々重要となっている。
 解決すべき課題に応じたチーム支援を推進し、事業者の様々な経営課題に対応する体制を強化する。

2 事業概要 ※ () は活動目標値

(1) 皆瀬支所統合による支援体制構築事業
 統合による影響を検証し商工会活動のあり方を検討した。
■活動内容 ・出張相談窓口利用状況の検証
■達成状況 ・出張相談窓口 (毎週火曜日 9:30~15:30)
 ・計画巡回の実施
 ・皆瀬地区巡回相談 233件
 ・皆瀬出張相談窓口来訪 159件
 うち、相談件数 27件
 ・補助金活用 2件 ・税務 11件
 ・労務 12件 ・共済 2件

(2) チーム支援体制強化事業
 課題や分野に応じたチーム支援を実施し、迅速な課題解決を図るため支援体制を強化した。
■活動内容 ・経営指導員を中心に経営支援員を含むチームを編成し課題解決に取り組んだ。
■達成状況 ・経営革新や事業承継を含む課題解決・実行支援件数 22件 (20件)
【内訳】
 販路拡大に向けた計画策定支援 4件
 事業承継に向けた計画策定支援 1件
 資金繰り計画策定支援 4件
 商品開発に向けた計画策定支援 5件
 会員向けホームページ(ゲーベ)新規登録導入支援 1件
 人材育成強化に向けた計画策定支援 1件
 創業に向けた計画策定支援 1件
 経営改善計画策定支援 4件
 法人成に向けた計画策定支援 1件

3 施策目標及び達成状況

施策目標	実績値 (目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 支所統廃合実施後の拠点数 ・支援体制の再構築に向けた拠点の見直し	3 拠点 (3 拠点)	2 拠点 (2 拠点)	2 拠点 (2 拠点)	2 拠点 (2 拠点)	(2 拠点)
達成状況	達成	達成	達成	達成	
(2) チーム支援による課題解決件数 ・チーム支援による課題解決・実行支援件数	15 件 (15 件)	12 件 (20 件)	22 件 (20 件)	22 件 (20 件)	(25 件)
達成状況	達成	未達成	達成	達成	

4 施策目標に関する検証

(1) 支所統廃合実施後の拠点数
《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか
 ・皆瀬支所統合による支援体制構築事業
 職員が交代で出張相談窓口対応にあたり、窓口終了後速やかに相談内容をEメールで共有するとともに、事務所内での情報共有を徹底した。
《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか
 ・皆瀬支所統合による支援体制構築事業
 年々、出張相談窓口来訪者が減少しており、窓口体制の見直しを検討する時期となっている。

(2) チーム支援による課題解決件数
《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか
 ・チーム支援体制強化事業
 資金繰り案件や経営改善計画策定等、職員間で情報共有を図ったことで、課題解決に向けた方策を複数の視点から検討・検証することができた。
《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか
 ・チーム支援体制強化事業
 持続化補助金の活用等、販路拡大に向けた提案・申請件数が増えたものの、経営革新等の支援件数が少なく、職員個々のさらなるスキルアップが求められる。

5 次年度への改善点

(1) 皆瀬支所統合による支援体制構築事業
 出張相談窓口対応のあり方を検討するとともに、業務の効率化を図りながら巡回時間を確保し、課題の掘り起こしに努める。

(2) チーム支援体制強化事業
 組織内での情報共有を図り、取り組むべき課題を明らかにし、経営革新等の高度な個社支援の掘り起こしに取り組む。

独自戦略1 『ゆざわ小町地域』地場産業の新価値創造支援

施策7 事業者、商工会が一体となった地場産業の価値創造

1 令和7年度 施策の方向性

当地は稲庭うどん、川連漆器、秋田仏壇等を始めとした秋田県を代表する地場産業の産地として、高品質なものづくりが行われている。
環境変化に対応し販路開拓に導くため、県内外で開催される商談会等への出展を支援するとともに、関係機関と連携した新商品開発等付加価値の高いものづくりを推進する。

2 事業概要 ※ () は活動目標値

(1) 売上拡大・新分野創出事業

事業者の新商品開発や展示会出展による販路開拓等を支援し、売上増加につなげた。

■活動内容 ・商談会等への出展及びフォローアップ支援

■活動実績 ・売上増加に向けた販路開拓支援件数 5件 (4件)

【東京インターナショナル・ギフト・ショー春2026 (東京ビッグサイト)】

会期：令和8年2月4日～6日 支援事業者：3事業者

商談実績

① 会期中の折衝数 (名刺交換)		131件
内 訳	A 直近の取引が期待できる	18件
	B 今後、アプローチを重ね検討する	33件
	C 相手から接触があれば対応する	80件
② 会期中の商談	商談件数	10件
	成約件数	4件
	受注金額	600千円

※アプローチ中の案件が14件 (R8.3.31 現在) あり、商談件数含め売上につながるものと想定される。

【チャレンジショップ「Coten はたまち」(能代市)】

会期：令和8年2月12日～13日 支援事業者：1事業者

商談実績：1件 ほか、アプローチ中の案件あり

【建築・建材展2026/JAPAN SHOP (東京ビッグサイト)】

会期：令和8年3月3日～6日 支援事業者：1事業者

商談実績：1件 ほか、アプローチ中の案件あり

(2) 連携による新価値創造事業

事業者間や関係機関との連携を通じた付加価値の高いものづくり支援に取り組んだ。

■活動内容 ・試作品開発等を含めた新商品開発支援

■活動実績 ・新商品開発に向けた伴走型支援件数 5件 (3件)

【内訳】

食品 1件 木工品 3件 工芸品 1件

3 施策目標及び達成状況

施策目標	実績値 (目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 需要動向調査フィードバック件数 ・フィードバックを行った件数	0件 (0件)	3件 (3件)	3件 (3件)	5件 (4件)	(5件)
達成状況	—	達成	達成	達成	
(2) 新商品開発等の支援件数 ・新商品開発に向けた伴走型支援件数	3件 (3件)	11件 (3件)	3件 (3件)	5件 (3件)	(3件)
達成状況	達成	達成	達成	達成	

4 施策目標に関する検証

(1) 需要動向調査フィードバック件数

《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか

・売上拡大・新分野創出事業

日本最大のパーソナルギフトと生活雑貨の国際見本市への出展及び販路開拓支援を実施。専門家にプロデュースを依頼し、事前ブラッシュアップから商談フォローまで一貫して対応した。3社出展で会期商談10件・当日成約60万円を達成、さらに継続商談による売上拡大も見込まれる。

《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか

・売上拡大・新分野創出事業

バイヤーのニーズに対し各社の強みは伝えられたものの、産地としての統一的魅力や優位性を直感的に示す工夫が不足していた。また、同一ブース内での表示やレイアウトにより、各社の主力やターゲットが分かりにくい点が課題である。

(2) 新商品開発等の支援件数

《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか

・連携による新価値創造事業

専門家指導のほか市補助金を活用した試作品の開発、展示会でのテストマーケティングまで、一貫して支援できた。

《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか

・連携による新価値創造事業

地場産品に関する連携や付加価値の創出が充分とは言えず、特に川連漆器や秋田仏壇といった分野において、新たな価値の創出には至らなかった。

5 次年度への改善点

(1) 売上拡大・新分野創出事業

個社支援により事業者の戦略は明確となったが、商談を成約に結び付けるために、新商品の強みや特徴をわかりやすく記載したリーフレットの作成等の支援を検討する。

(2) 連携による新価値創造事業

連携を通じて同業者や関係機関とのつながりを広げ、産地全体としての魅力や認知度の向上に取り組む。併せて、川連漆器や秋田仏壇等の地場産品について、新たな視点を取り入れながら付加価値の向上を図る。

独自戦略1	『ゆざわ小町地域』地場産業の新価値創造支援
-------	-----------------------

施策8	オンライン活用等による外部地域からの商機獲得の推進
-----	---------------------------

1 令和7年度 施策の方向性
<p>新型コロナウイルス感染症の影響から消費者の意識は大きく変化しており、インターネット等の技術活用は事業者にとって避けて通ることのできない重要な課題となっている。商工会は従来のリアル商談会に加え、オンライン活用による出展支援を通し事業者の販路開拓を推進する。</p>

2 事業概要 ※ () は活動目標値

(1) オンライン商談会出展支援事業													
<p>稲庭うどんや川連漆器、秋田仏壇等を始めとした地場産業の製造・販売事業者の地域外への販路開拓を支援した。</p>													
<p>■活動内容</p>	<p>・オンライン形式で開催される商談会への出展支援、情報提供</p>												
<p>■達成状況</p>	<p>・オンライン出展支援件数 3件 (2件)</p>												
<p>【内訳】</p>													
	<table border="0" style="width:100%"> <tr> <td style="text-align:right">湯沢市リモート商談会情報提供</td> <td style="text-align:right">6件</td> </tr> <tr> <td style="text-align:right">うち、出展企業</td> <td style="text-align:right">3件</td> </tr> </table>	湯沢市リモート商談会情報提供	6件	うち、出展企業	3件								
湯沢市リモート商談会情報提供	6件												
うち、出展企業	3件												
(2) 商談会出展支援事業													
<p>小規模事業者の商談会等への出展を支援するほか、専門家派遣等を活用し、他社との差別化や付加価値の高い製品提供ができるよう支援を行った。</p>													
<p>■活動内容</p>	<p>・各種商談会等への出展支援</p>												
<p>■達成状況</p>	<p>・商談会等出展支援件数 8件 (1件)</p>												
<p>【内訳】</p>													
	<table border="0" style="width:100%"> <tr> <td style="text-align:right">東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2026</td> <td style="text-align:right">3件</td> </tr> <tr> <td style="text-align:right">あきた県産食材マッチング商談会 2025</td> <td style="text-align:right">1件</td> </tr> <tr> <td style="text-align:right">三井物産流通グループ FOOD SHOW 2025</td> <td style="text-align:right">1件</td> </tr> <tr> <td style="text-align:right">スーパーマーケットトレードショー 2026</td> <td style="text-align:right">1件</td> </tr> <tr> <td style="text-align:right">建築・建材展 2026/JAPAN SHOP</td> <td style="text-align:right">1件</td> </tr> <tr> <td style="text-align:right">All Japan Specialties Gala 2025</td> <td style="text-align:right">1件</td> </tr> </table>	東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2026	3件	あきた県産食材マッチング商談会 2025	1件	三井物産流通グループ FOOD SHOW 2025	1件	スーパーマーケットトレードショー 2026	1件	建築・建材展 2026/JAPAN SHOP	1件	All Japan Specialties Gala 2025	1件
東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2026	3件												
あきた県産食材マッチング商談会 2025	1件												
三井物産流通グループ FOOD SHOW 2025	1件												
スーパーマーケットトレードショー 2026	1件												
建築・建材展 2026/JAPAN SHOP	1件												
All Japan Specialties Gala 2025	1件												

3 施策目標及び達成状況					
施策目標	実績値 (目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) オンライン商談会への出展支援件数 ・オンライン商談会への出展支援件数	4件 (2件)	0件 (2件)	2件 (2件)	3件 (2件)	(2件)
達成状況	達成	未達成	達成	達成	
(2) 各種商談会等への出展支援件数 ・出展により販路拡大が図られた事業者数	7件 (0件)	4件 (1件)	8件 (1件)	8件 (1件)	(1件)
達成状況	達成	達成	達成	達成	

4 施策目標に関する検証

(1) オンライン商談会への出展支援件数	
<p>《効果があった事業及びその内容》</p>	<p>何が良かったのか</p> <p>・オンライン商談会出展支援事業 関係団体や全国連主催事業の有益な情報をいち早く対象事業者へ提供したことで、事業者の販路開拓や新規取引の機会が拡大した。</p>
<p>《検討の余地がある事業及びその内容》</p>	<p>何が悪かったのか</p> <p>・オンライン商談会出展支援事業 コロナ禍収束後はリアル展示会志向が強まり、オンライン商談会の利便性やコスト面のメリットが伝わりにくい状況にあり、効果的な周知方法の見直しが必要である。</p>
(2) 各種商談会等への出展支援件数	
<p>《効果があった事業及びその内容》</p>	<p>何が良かったのか</p> <p>・商談会出展支援事業 商談会出展にあたり、専門家派遣制度を活用し出展商品の方向性や展示ブースの構成・陳列方法、商談の進め方などについて総合的に支援を行った。</p>
<p>《検討の余地がある事業及びその内容》</p>	<p>何が悪かったのか</p> <p>・商談会出展支援事業 出展に関する問合せは一定数あったものの申込みに至らないケースも見受けられたため、周知内容・方法について一層の工夫を行い、事業者の参加意欲をより効果的に高める必要がある。</p>

5 次年度への改善点

<p>(1) オンライン商談会出展支援事業</p> <p>巡回訪問を通じて事業者の課題やニーズの把握に一層努めるとともに、業種や事業規模、環境に応じた最適な商談会を提案し、参加意欲の向上と成果創出につなげていく。</p>
<p>(2) 商談会出展支援事業</p> <p>HPでの情報提供やFAXでの通知発信など事業者ニーズに合わせた形で、最新の情報をいち早く事業者に提供する。出展にあたっては、より効果的な出展にするため補助金及び専門家派遣を活用しながら支援を行っていく。</p>

独自戦略2 観光資源の魅力向上による『ゆざわ小町地域』交流人口の拡大

施策9 観光資源の磨き上げと新たな観光資源の創出

1 令和7年度 施策の方向性
 地域内に点在する観光資源を有効活用するため、PR方法や受入体制を見直し、併せて新たな観光資源を創出することで、地域内の交流人口の増加により地域活性化につなげる。

2 事業概要 ※ () は活動目標値

(1) 観光資源磨き上げ事業
 既存観光資源の有効活用のため、地域の魅力を見つめ直し、セミナー開催等によりPR手法や活用方法など観光資源の磨き上げを支援した。
■活動内容 ・セミナー開催等による観光資源磨き上げ支援
■活動実績 ・セミナー参加者数 10件 (10件)
【内訳】
 インバウンド受入体制整備に向けた研修会
 (湯沢市インバウンド観光推進機構主催事業を活用)
 1月14日 受講者 7名 (うち当会会員4名)
 1月29日 " 11名 (" 6名)

(2) 地域魅力度向上支援事業
 地域内の特産品や観光拠点の情報を総合的に発信したことで、より多くの人に当地域を知ってもらい誘客促進につなげた。
■活動内容 ・地域内の魅力ある観光拠点や観光関連事業者のPR支援
 ・全国まるごとうどんエキスポでの「秋田県観光PRコーナー」「ゆざわジオパークPRコーナー」の設置
■活動実績 ・地域情報発信件数 33件 (12件)
【内訳】
 商工会エリアマップ作成による情報発信 1件
 (掲載企業数 62社)
 商工会ホームページ活用による地域情報発信 5件
 商工会報発行による地域情報発信 2件
 青年部・女性部による情報発信 25件

3 施策目標及び達成状況

施策目標	実績値 (目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 支援事業者数 ・現状分析、商品開発・PR手法等の支援者数	10件 (10件)	18件 (10件)	23件 (10件)	10件 (10件)	(10件)
達成状況	達成	達成	達成	達成	
(2) 情報発信回数 ・情報発信回数	14件 (12件)	12件 (12件)	19件 (12件)	33件 (12件)	(12件)
達成状況	達成	達成	達成	達成	

4 施策目標に関する検証

(1) 支援事業者数
《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか
 ・観光資源磨き上げ事業
 湯沢市インバウンド観光推進機構主催の事業を活用したことで、参加者が限定的にならず幅広い層に受入体制のノウハウを周知でき、地域内外の交流促進や観光資源の魅力向上に寄与した。
《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか
 ・観光資源磨き上げ事業
 インバウンド向け研修会の実施に加え、国内観光客や地域住民を対象としたセミナー・研修会の開催も検討すべきであり、幅広い層への周知と受入体制の強化が課題として残った。

(2) 情報発信回数
《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか
 ・地域魅力度向上支援事業
 SNSによる情報発信を強化し、通年で地域の観光情報等の情報発信を行った。また、全国まるごとうどんエキスポ会場に観光PRブースを設置し地域の魅力を発信した。
《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか
 ・地域魅力度向上支援事業
 青年部・女性部に関連する各種情報発信についても、商工会ホームページへの掲載を行うことで、地域内外の事業者や関係者への周知を強化し、情報の共有や参加促進につなげる必要があった。

5 次年度への改善点

(1) 観光資源磨き上げ事業
 観光資源の魅力向上に向け、改めて地域の観光資源や有効活用の情報収集を行い、開催時期やテーマを検討したうえで具体的な企画を提案する。
(2) 地域魅力度向上支援事業
 商工会ホームページ、青年部・女性部による情報発信が単独発信とならないよう、連携した情報発信を行う。

独自戦略2 観光資源の魅力向上による『ゆざわ小町地域』交流人口の拡大

施策10 産業と観光の融合による魅力向上

1 令和7年度 施策の方向性
 地域内に点在する観光資源は魅力的なものが多く、これらの観光資源を広域的に線で結びつけ、観光地としての魅力を高めていくことが重要である。
 商工会は産業と観光融合の取組を行うことで地域内交流人口の拡大を図っていく。

2 事業概要 ※ () は活動目標値

(1) 観光資源の連携支援事業
 地元では当たり前と考えられている地域の魅力の掘り起こしや既存観光資源との連携を図ることで、新たな観光資源の創出につなげるための連携支援を行った。
■活動内容 ・産業と観光の融合を共通テーマとした業種別部会や青年部・女性部活動等を通じた連携支援
■達成状況 ・観光資源の連携支援数 6件 (5件)
【内訳】
 全国まるごとうどんエキスポ2025in秋田・湯沢の開催
 商工会女性部おもてなし交流事業への参画
 川連漆器伝統工芸館を会場に開催した「詩の街ゆざわ短歌大会2025」
 楽天イーグルス野球塾の開催
 観光イベントの運営協力(雄勝大花火大会、しがっこまつり)

(2) 新たな観光ルート・販売ルート企画支援事業
 行政や関係団体等と連携しながら、インバウンド需要も見据えた新たな観光ルートや販売ルートの企画提案を行い、地域資源の魅力向上を図った。
■活動内容 ・新たな観光ルートや販売ルートの企画提案
■達成状況 ・企画提案数 5件 (5件)
【内訳】
 歴史的な建物と文化が根付く盛岡を巡る研修企画(四部会合同)
 雄平・湯沢地区商工会等女性部交流会(川連漆器蒔絵体験)
 秋田稲庭うどん協議会による地理的表示(GI)保護制度登録推進
 東京インターナショナル・ギフト・ショー出展企画
 観光情報発信ツール(商工会エリアマップ)作成

施策目標	実績値(目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 観光資源の連携支援数 ・新旧観光資源の連携支援数	0件 (0件)	5件 (5件)	7件 (5件)	6件 (5件)	(5件)
達成状況	—	達成	達成	達成	
(2) 企画提案数 ・観光・販売ルートの企画提案	5件 (5件)	5件 (5件)	5件 (5件)	5件 (5件)	(5件)
達成状況	達成	達成	達成	達成	

4 施策目標に関する検証

(1) 観光資源の連携支援数
《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか
 ・観光資源の連携支援事業
 女性部のおもてなし事業を活用したことで他地域の魅力や観光資源の活用手法について学ぶことができ、当地域の観光資源の連携強化や活用の参考とすることができた。
《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか
 ・観光資源の連携支援事業
 クマ出没の影響により一部事業が実施できなかったため、事業継続の観点から課題が残った。今後は関係機関と連携し、実施時期や内容の見直しなど柔軟な対応を図る必要がある。

(2) 企画提案数
《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか
 ・新たな観光ルート・販売ルート企画支援事業
 観光情報発信ツールとして商工会エリアマップを作成したことで、地域内の観光資源や施設情報を分かりやすく提供できた。今後の地域内交流人口の拡大や観光振興の促進につながると期待される。
《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか
 ・新たな観光ルート・販売ルート企画支援事業
 行政や関係団体等との連携を視野に入れた企画提案についても検討すべきであり、地域内外の資源や情報を有効に活用しながら、より効果的な事業運営を行う必要があった。

5 次年度への改善点

(1) 観光資源の連携支援事業
 地元の魅力に改めて着目し、広い視野を持って地域資源の掘り起こしを進めるとともに、既存資源との連携も図りながら、新たな観光資源の創出に取り組んでいく。

(2) 新たな観光ルート・販売ルート企画支援事業
 行政や関係団体との連携を強化し、地域内外の資源や情報を効果的に活用した企画提案を行うことで、事業の成果向上と実効性のある推進を目指す。